

2014年1月22日

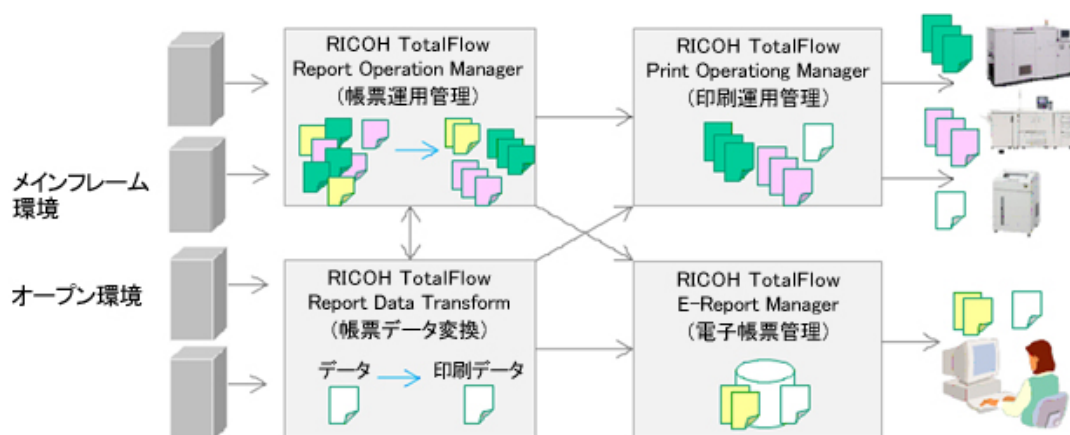
リコージャパン、「RICOH TotalFlow 統合印刷基盤」を新発売
～基幹システムの印刷環境を一気通貫でサポート。高信頼な印刷環境の構築を実現～

リコージャパン株式会社(社長執行役員:佐藤邦彦)は、プロダクションプリンティング分野のソフトウェア新製品として、「RICOH TotalFlow 統合印刷基盤」4製品を発売します。

基幹システムの印刷業務では、ミスのない正確な印刷をスケジュール通りに行える信頼性の高い印刷環境が求められます。新製品「RICOH TotalFlow 統合印刷基盤」は、「帳票運用管理」「印刷運用管理」「帳票データ変換」「電子帳票管理」を行う4つの製品で構成しており、お客様のニーズに合わせて各製品を組み合わせて使用することが可能です。

製品名	主な機能	標準価格	発売日
RICOH TotalFlow Report Operating Manager	帳票運用管理	オープン価格	2014年2月5日
RICOH TotalFlow Print Operating Manager	印刷運用管理	オープン価格	
RICOH TotalFlow Report Data Transform	帳票データ変換	オープン価格	
RICOH TotalFlow E-Report Manager	電子帳票管理	オープン価格	

新製品「RICOH TotalFlow 統合印刷基盤」は、これまでリコーグループがプロダクションプリンティング分野で提供してきた実績のある製品の後継ソフトウェアとして発売するもので、従来の機能を備えながら、各製品を連携して活用できるため、統合的に信頼性の高い印刷環境を構築することが可能になります。



リコージャパン株式会社 <http://www.ricoh-japan.co.jp/>

報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーショングループ
TEL : 03-6278-5015 E-mail : rj_ccd@ricoh-japan.co.jp

お客様のお問い合わせ先 株式会社リコー PP事業本部 国内マーケティング室 ソリューション計画グループ
担当 高橋 E-mail : takashi.pp.takahashi@nts.ricoh.co.jp
小川 E-mail : takahiro.pp.ogawa@nts.ricoh.co.jp

＜新製品 RICOH TotalFlow 統合印刷基盤の主な特徴＞

1. 金融機関等で取り扱う大量の帳票のライフサイクルを効率的に一元管理

- ・「RICOH TotalFlow Report Operating Manager」により、印刷準備から仕分け、長期保存まで、帳票のライフサイクルを効率的に管理できます。
- ・あらかじめ帳票マスタに帳票の運用情報を登録・更新することで、メインフレーム帳票やオープン帳票の統合的な管理を実現します。また、どの帳票を仕分けするか、どの帳票を電子化するかといった、目的に応じた使い分けが可能になります。
- ・グループごとに識別できる「仕分け機能」により、複数の帳票から同一の配布先を抽出し、その配布先ごとにまとめ直す（ソート/マージ）ことが可能です。
- ・予実績情報を標準出力または照会ファイルに出力することにより、印刷抜けの確認や課金情報などの確認が可能となり、発送ミス等の防止が期待できます。
- ・帳票のバックアップにより、帳票を削除したあとも長期的に保管が可能で、印刷が必要になった場合にはリストアして再印刷が可能です。

2. 大量印刷から少量印刷まで安定した印刷運用管理を実現

- ・「RICOH TotalFlow Print Operating Manager」は、長年培ってきた印刷運用管理のノウハウを活用して、印刷の受付から、印刷の進捗状態、印刷完了まで、大量帳票の印刷状況を帳票ごとに表示するなど、安定した印刷運用を実現します。
- ・拠点のプリンターに対してのみ状態監視・ジョブ操作が行える分散印刷制御が可能のため、セキュリティ性を向上することができます。
- ・業務アプリケーションを再実行せずに再印刷が可能。印刷ジョブはページ指定再印刷や、バックアップ保存をすることができます。
- ・印字位置やセットする用紙を事前にテスト印刷で確認することができます。またスタンプ印字機能により、本番印刷と見分けることができます。

3. メインフレームの印刷業務アプリケーションや帳票リソースをそのまま活用することが可能

- ・「RICOH TotalFlow Report Data Transform」により、メインフレームに接続されたシステムプリンターへの出力をオープンプリンターに出力することができます。印刷制御コマンドやオーバーレイを自動変換できるので、メインフレームの印刷業務アプリケーションや印刷資源をそのまま活用できます。
- ・帳票の電子化にも対応しており、PDFでの出力が可能です。RICOH TotalFlow E-Report Managerと連携することで、電子帳票システムの構築も可能です。
- ・帳票デザインツール RICOH TotalFlow Report Data Transform Tool-T01 (ROV Designer)を使用することにより、帳票の新規作成が可能です。またメインフレームから移行した帳票のデザイン変更も可能です。

4. 既存の出力アプリケーションを活用して、スムーズに電子帳票化を実現

- ・「RICOH TotalFlow E-Report Manager」は、IBM製メインフレームに接続されたシステムプリンター（AFPプリンター）への出力を電子帳票化します。また、RICOH TotalFlow Report Operating

Manager および RICOH TotalFlow Report Data Transformから出力されるPDFの電子帳票化に対応し、セキュアな専用形式で電子帳票Webサーバーに登録可能です。

- 帳票を分類する条件(帳票名、帳票日付、グループなど)で仮想のフォルダーを定義することができ、ユーザーのアクセス制御と組み合わせ、セキュアな情報アクセスの利便性を向上させることができます。
- さまざまな検索条件を指定して帳票内検索、およびセル検索(帳票ごとにセルを定義し、それぞれのセル単位で検索条件を設定した検索)による高度な検索ができます。検索結果を表示し、CSVファイルに出力が可能です。

※IBM は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※この他、ニュースリリースに掲載されている社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2013年3月期リコーグループ連結売上は1兆9,244億円)。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「*imagine. change.*」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。
www.ricoh.co.jp/about/